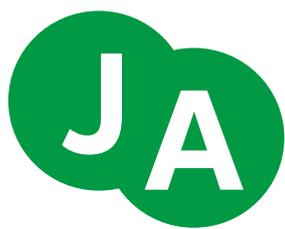


広報誌



# きたそらち

2026

3月号

No.300

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



おかげさまで、「広報誌JAきたそらち」は創刊300号を迎えました。それを記念して、今回の表紙はこれまでの広報誌の表紙を使って、JA施設と田園のモザイクアートに挑戦しました。これからも「広報誌JAきたそらち」をどうぞよろしくお願いいたします。

## ～今月のヘッドライン～

- 一已小学校 豆腐作り …………… 4
- 青年部 東北・北海道大会 …………… 7
- 助け合い組織合同講習会 開催 …… 10
- 農業フォーラム2026 開催 …………… 12

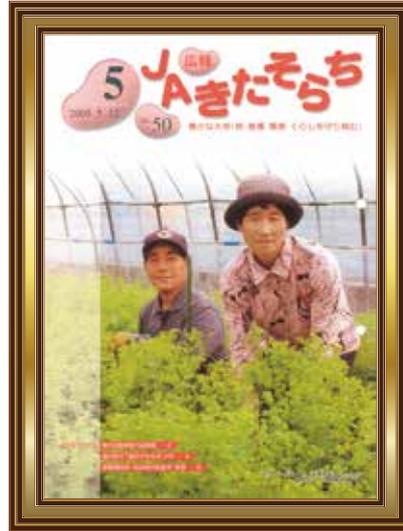
# 歴代の表紙ものがたり

これまで発行してきた「JAきたそらち広報誌」の表紙をいくつかピックアップして紹介します。それぞれの季節や地域の魅力を映した表紙には、その時の思いが詰められています。ぜひご覧ください。



## 第1号

記念すべき第1号！26年前から始まった広報誌。本所前のテープカットの瞬間が掲載されました。



## 第50号

5年が経ち、表紙もカラーになりました。下地さんご夫妻が栽培しているアルケミラモリスの写真です。



## 第100号

白い花が咲く広大なじゃがいも畑と山並み。フルアートの表紙はやはり開放感があります。



## 第150号

メロンの収穫作業と、ラジハリで田んぼを防除中の橋本貴之さん。現代はドローンが主流。時代の流れを感じます。



## 第200号

各市町での新米まつり。例年通り賑わっています。また、200号記念にキャンペーンも実施しました。



## 第250号

この辺りから、今の広報誌のデザインになりました。所々違う箇所がありますので探してみてください。



## 米・そば・日本酒を味わう うまいっしょグランプリ



1月27日、雨竜町、北竜町、沼田町の3町で収穫した”米”と”そば”、”日本酒”のおいしさを競う「第9回3町うまいっしょグランプリ」が沼田町健康福祉総合センターふれあいで開催され、各町長や役場職員、当JA職員ら48名が参加した。

食味審査の結果、今年は沼田町が米部門と日本酒部門で、雨竜町がそば部門でそれぞれ優勝した。

今回の審査では、米は3町それぞれの「ゆめぴりか」、そばは「キタワセ」を食べ比べた。また、日本酒は雨竜町産酒米「吟風」の「純米吟醸 うりゅう(金滴酒造)」、沼田町産酒米「彗星」の「雪なごり瑞華(高砂酒造)」、北竜町産酒米「彗星」の「北竜彗星 特別純米(金滴酒造)」が使用された。

審査に参加した職員からは「米、そばはどの地域も甲乙つけがたいおいしさだった。日本酒はそれぞれに特徴があり、審査にとっても苦慮した」との声が聞かれた。

【北竜支所 阿部】



## JPO1まつりinチ・カ・ホで ふかがわまいを販売



1月29日、30日の2日間、札幌駅前通地下歩行空間にて北海道発掘マガジン「JPO1」と連動したイベント「JPO1まつりinチ・カ・ホ」が開催され、当JAからふかがわまい生産組合が出店した。同イベントは、札幌市の総合商研(株)が同誌最新号の発行にあわせて開催したPRイベントで、会場では全道各地の市町村などが観光PRをはじめ、米や野菜、加工品など特産品の販売を行った。

当組合は、精米したてのふかがわまい「ふっくりんこ」の5合升すくい取り販売を行い、2日間合計355回のすくい取りで480kgを売り上げた。大人から子供までたくさんの方に参加いただき大盛況となった。

来場者は「昨日すくい取りをして、食べたらとてもおいしかったので今日も来ました」「今はお米が高く、このすくい取りは安くてお得なのでたくさんすくっていきたいです」と話した。

【深川支所 亀島】





## ハピオ木野店でふかがわまいをPR



2月7日と8日、JA木野が運営するスーパーマーケット・ハピオ木野店（音更町）でお米の販促イベントを実施し、ふかがわまい生産組合が参加した。地域の消費者へ直接おいしさを伝える機会として毎年行っているイベントで、今年も多くの来店者で賑わった。

今回のイベントでは「ふっくりんこ」の5kg袋を販売し、さらに購入者には「ふっくりんこ」300g袋をプレゼントするキャンペーンを実施。「毎年楽しみにしている」との声も聞かれ、2日間を通して好評を得た。さらに、ふかがわまいのキャラクターである「こめっち」もイベントに参加し、子どもたちを中心に写真撮影や交流を楽しむ姿が見られ、会場を盛り上げた。

来店者の中には「こめっちに会いに釧路から来ました。おいしいお米も買っていきます」と話す人もいた。

【深川支所 亀島】



### 育てた大豆が豆腐に!

### 一已小6年生が豆腐・卵の花作り体験



1月26日、1月28日、当JAイチヤン加工室で一已小学校6年生が、豆腐と卵の花作り体験を行った。手作り味噌の販売や豆腐作りなどを行っていた、一已地区の女性有志6人が指導した。この取り組みは、同校の総合学習の一環で毎年行われており、昨年5月に農業センターで大豆（ユキホマレ）播種を行い、10月に脱穀作業したものを今回の豆腐作りに使用した。

28日には児童25人が参加。豆腐作りでは大豆をすり潰す作業からスタートした。こぼさないよう慎重に機械に投入し、大きな鍋で煮た後、豆乳とおからに分けた。豆乳を味見した児童たちは、「初めて飲んだけど、甘くておいしい!」と話した。最後ににがりを入れ、重しで水分を抜き完成すると「想像以上に大きい」「きれいでおいしそう!」と自分たちで作った豆腐の仕上がりに喜んでいた。

卵の花作りでは、ごぼうや玉ねぎ、鶏肉などを切る作業に挑戦。玉ねぎのみじん切りやごぼうのさがきに苦戦しながらも、協力して取り組み、おからと炒めて、おいしそうなお卵の花が出来上がった。

児童たちは、自分たちで育てた大豆が豆腐や卵の花に変わる過程を体験し、食の大切さや加工の大変さについて学ぶ貴重な機会となった。

【営農企画課 坪】



## 拓殖短大で新規就農者等冬期集中講座

2月10日、12日、13日の3日間、深川市の拓殖大学北海道短期大学で「令和7年度 新規就農者等冬期集中講座」が開かれ、北空知管内の就農希望者や農家後継者、女性農業者など24人が参加した。

12日には、BASF ジャパン(株)の池町健太氏を講師に迎え、「スマート農業の最先端『xarvio® FIELD MANAGER(ザルビオ・フィールド・マネージャー)』について」と題し、講義を行った。ザルビオは、人工衛星センシングやAI予測といった最新技術で、圃場の状況を自動的にデータ化しスマート農業に拍車をかけているサービスだ。主に水稲、大豆、小麦・大麦などの作物に対応しており、品種や気象データからの「生育予測」や「病虫害予測」、推奨除草剤と散布適期を知らせる「雑草管理」などの機能を紹介した。

また、ザルビオを利用している北空知指導農業士・農業士会の中西秀幸会長は「大変だった圃場管理が画面1つで分かり、広大な農地が管理しやすくなった」と実体験を語った。

参加した受講者も「作物の生育状況が一目で分かり、施肥を無駄なく撒けるのでやりやすそう」と話した。

その他、10日と13日には、同短大の教授や講師による「加工と六次産業化について」「簿記・経営分析について」など、農作物や農業経営の基礎知識に関する講座が行われた。

【営農企画課 坪】



農業  
振興部

## 「北育ち元気塾」第7回研修会・閉講式

2月5日、「北育ち元気塾」の第7回研修会および閉講式がJA北いぶき秩父別本所にて行われ、元気塾生や関係機関など31人が出席した。

始めに同年度最終となる第7回研修会が開催され、お米の食べ比べが行われた。普及センター北空知支所の山黒彩菜専門普及指導員が6種類の白米の品種について説明した後、塾生はクイズ形式で食べ比べた。頭を悩ませながらも、食味を頼りに正解の「ななつぼし」を導き出している塾生もいた。次に「北竜ひまわりすいか」をテーマに北海道指導農業士の渡邊俊成氏(北竜町)による講演が行われ、自身の経歴を交えながら、栽培管理や収穫方法、これまでの実績について説明した。

研修会に引き続き、閉講式では、同塾を主催・運営する北空知農業後継者育成支援協議会の中西秀幸会長が「塾生の皆さんが経験して学んだことは、今後の営農人生の大きな財産となる。当塾を卒業した後も交流を絶やすことなく営農に励んでいただき、困難に直面した際も各地域の指導農業士に気兼ねなく相談していただきたい」と挨拶。続けて皆勤賞表彰や卒業証書の授与が行われた。2年間の研修課程を修了した塾生16人のうち当日出席した塾生へ中西会長から卒業証書が手渡された。そして最後に令和7年度の研修実績の報告が行われ、今年度の元気塾の活動が締めくくられた。

【営農企画課 河端】



**第25回元気村・夢の農村塾 総会**

2月17日、都市部の中学生・高校生を対象に農業体験型の修学旅行の受け入れを行う「元気村・夢の農村塾」（村上はるみ塾長）が、音江町のアグリ工房まあぶで総会を開催し39人が参加した。

開会にあたり村上塾長は「農業農村体験は子どもたちにとって貴重なものであり、昨年まで18,700人の子どもたちを受け入れてきた。この体験は、私たちそして子供たちの人生も豊かにしてくれる。ひいては、この地域も豊かにするものだ」と挨拶した。

議事では、令和7年度の活動・決算報告、令和8年度の活動計画等が原案通り承認された。計画の中では、会員数の増加のために昨年度作成したホームページのPR、チラシやポスター作りに努めることを報告した。他にも、令和8年度は7校を受け入れる予定と報告した。

また、深川市「馬事考房」の野谷夏海氏を講師に迎え「『世話になるなら、近くの人』という生き方」と題した講演会も行われた。

【営農企画課 坪】



**新代表に幌加内支部の横窪氏**

**JA空知青年部連合会北ブロック 通常総会**



1月29日、JA空知青年部連合会北ブロックが本年度の通常総会を当JAで開催し、北ブロック管内の青年部（JAきたそらち、JA北いぶき）盟友39人が出席した。

開会にあたり岩倉竜矢代表理事は「本総会はこれまでの活動を振り返るとともに、今後の方針を共有する場。ぜひ活発な意見を頂戴し、有意義な総会にしたい」と挨拶。

議事では柏木洋輔氏（深川支部）を議長に選出し、事業・決算報告並びに事業計画・予算案などが原案通り承認された。また役員改選により、令和8年度の代表理事を務めることとなった横窪佑樹氏（幌加内支部）は「今回の新役員は大変心強いメンバー。役員一同、力を合わせて頑張るので、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします」と就任挨拶を行った。

なお、新役員は下記の通り。

【営農企画課 坪】

| 役職    | 氏名    | JA名   | 支部  |
|-------|-------|-------|-----|
| 代表理事  | 横窪 佑樹 | きたそらち | 幌加内 |
| 副代表理事 | 熊谷 俊  | 北いぶき  | 妹背牛 |
| 理事    | 大井 研太 | きたそらち | 深川  |
| 監事    | 山岡凌太郎 | 北いぶき  | 沼田  |



## 東北・北海道地区JA青年大会

### 庄司氏が北海道代表として主張発表

1月20日および21日の2日間、東北・北海道農協青年組織協議会が主催する「令和7年度 東北・北海道地区JA青年大会」が山形県鶴岡市の東京第一ホテル鶴岡で開催された。北海道および東北6県からJA青年部盟友ら約350人が集まり、そのうち当JA青年部からは11人が出席した。

20日に行われた「JA青年の主張発表大会」では、昨年の空知大会および全道大会で勝ち上がり、北海道代表となった当JA青年部の庄司俊喜氏（深川支部）が『変わらぬ過去と創る未来』と題して出場。その中で、青年部の存在意義と活動の大切さやその魅力、また交友関係を築くためにも積極的な声掛けを行うことの重要性を訴え、「気づいても何もしない大人になりたくない」「言葉とつながりは、人を支える力になる」などと熱く語った。会場では、当JA青年部をはじめ、同じ北海道内から参加した盟友らが応援隊となって声援を送り、絆を感じさせる光景が広がった。主張発表大会の後は「JA青年組織活動実績発表大会」も行われた。

翌21日には、東北農林専門職大学の小沢亘 農林業経営学部長による「農業の未来と次代を担う農業経営者に期待すること」と題した記念講演が行われた後、各発表大会の審査結果が発表された。庄司氏の発表は惜しくも最優秀賞には届かず、優秀賞となった。また「JA青年組織活動実績発表大会」ではJAたいせつ青年部（上川地区）、「PR動画コンテスト」ではJAうらぼろ青年部（十勝地区）がそれぞれ最優秀賞を受賞し、全国大会への出場を決めた。

庄司氏は「結果は優秀賞となり悔しい思いもあるが、当JA青年部をはじめ、地元の方々やご支援いただいた関係者の皆さまのおかげで良い発表、良い経験をさせていただいた。ご声援いただき、誠にありがとうございました」と感謝の言葉を述べた。

【営農企画課 河端】



※庄司氏による「JA青年の主張発表大会」の原稿全文を次ページより掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

「変わらぬ過去と、  
創る未来」

JAきたそらち青年部

庄司俊喜

「最近、どう?」「何か  
悩みはないか?」

仲間を声をかける。その一言が、誰かを救うことだってある。私はそう信じています。言葉にすることで、相手の存在を認め、安心させることができる。その力を私たちはもっと信じて積極的に使っていくべきだと思



ます。たとえ短い言葉だとしてもその温かさは人の心を支える力になります。

私がそう考えるようになったきっかけとなる出来事がありました。それは、私にとって大切な仲間がひとり、自らこの世を去ったことです。その仲間は、いつも誠実に物事に向き合い、努力を惜しまず、地元のためにひたむきに汗を流していた仲間です。訃報を聞いたとき、私の胸に残ったのは、「もっと寄り添っていたら」という後悔でした。

私は、深川市納内町で5人兄弟の長男として産まれました。父親が農業をしており、小さいころから農作業を手伝っていた為、自分も将来農家になるのだろうと漠然と思っていました。高校卒

業後なんとなく就職し、父親と一緒に農業を始めました。軽い気持ちで始めた農業ですが、父親に

は作業の度に怒られ、一人作業が多いことから孤独な時間が多く、自分はこれから農家を一生の職業として続けているのだからかと悩んでいました。そんな時、当時のJAきたそらち青年部納内支部の先輩が青年部に誘ってくれた事から、断る理由もなく、どんな組織かわからないまま青年部に入る事になりました。青年部の仲間との飲み会で自分が抱えている悩みを相談した所、「そんなの、皆一緒だよ」「お前はまだまだいい方だよ、うちなんてもっと大変だぞ」と言われました。自分が抱えている悩みは皆抱えており、それでも笑顔で楽しく農家をやっていることを知

り、孤独だと思っていた農作業も皆がやっていると思うと孤独ではなくなりました。

私が就職した時は、米・小麦・そば・花を作付けしていましたが、農業にも慣れてきた頃、「自分で考えて新たな作物を作ってみよう」と思うようになった。自分の農作業が落ち着く期間はいつか?自分の圃場に合った作物は何か?という事や、青年部の仲間や農協職員から色々な作物の話聞いた中で、新たにさくらんぼ・イチゴ苗・

サツマイモの作付けを始めました。どの作物も1年目から上手くいく事は無かったのですが、困った時に青年部の仲間にご相談しながら、今も継続して作付けする事が出来ています。スタートはなん

となくはじめた農業で、父親に言われたことをこなす毎日でしたが、新たに始めた作物を自分が主導でやるようになり、農家が楽しいと思えるようになりました。新たな作物を作るようになり、栽培方法や病虫害等に悩むことが増えましたが、そんな悩みも青年部の仲間が解決してくれました。

さて、みなさんにとって「青年部」とは、どんな存在でしょうか?農業の勉強をする場所、経営の勉強をする場所、情報交換をする場所等、その人によってさまざま青年部の存在意義があると思います。私にとつての青年部は、一緒に汗をかき、一緒に笑い合い、ときには悩みや愚痴も打ち明けられる、「孤独な農業を、孤独じゃなくして

く

れる場所」です。収穫の喜びも、天候に左右される不安も、経営の悩みも、誰かと共有できるだけで、前を向く力になります。だからこそ、今改めて思うのです。

この場所をもっと大切にしたい。もっと「人と人とのつながり」が深まる場所にしていきたい。誰かの一言で励まされ、救われた経験があるからこそ、そうした関係性の尊さを私は強く感じています。心を開いて話せる仲間がいるということが、日々の仕事や人生の大きな支えになります。

そんな私の支えであったJAきたそらち青年部納内支部も数年前から存続が危ぶまれました。私が入部した10年前は20人ほどいた盟友も、3年前には半数の10人になりました。このままでは組織を維持することができなくなってしまうので

はないか、盟友全員が今後の青年部活動継続を懸念していました。

そんな中、同じ悩みを抱えていた納内支部・多度志支部・深川支部・音江支部・一己支部の深川市内青年部5支部が合併に向けて協議を重ねました。協議を重ねる中で地域ごとに慣習も違えば考え方も違い、「果たして一つになれるのだろうか」と感じた事を覚えています。実際、合併に向けた会議は夜遅くまで続き、時には意見がぶつかり合い、重たい空気が流れることもありました。それでも、最後まで話し合いをやめなかったのは、「この青年部をより良い場所にしたい」という思いからでした。

そんな合併に向けた話し合いが実り、一昨年に5支部合併しJAきたそらち青年部深川支部となりました。合併により、これまで

出会えなかった仲間とつながり、新しい考えや知識に触れることができました。地域の違いはむしろ刺激となり、互いを高め合う力になりました。合併は単なる組織の統合ではなく、私たちに「新たな出会い」と「新たな気づき」を与えてくれたのです。まだまだ合併して間もない組織で65人いる盟友を全員把握する事は出来ていませんが、一人一人と積極的に対話し、「心を開いて話せる仲間」をどんどん増やしていきたいと思っております。

皆さんは、最近、隣にいる仲間に声をかけていますか？声をかけるだけで、仲間の不安が解消される事があります。農業は天候や政策によって収入が大きく変わり、1年1年が勝負の大変厳しい仕事です。その為、精神的なプレッシャー

や将来への不安が重くのしかかる中、誰にも話を出来ず、苦しんでいる人もいます。私自身、青年部の仲間の一言で救われた経験があるからこそ、これからも積極的に声かけをしていきたいと思えます。私は、親や仲間に助けてもらってばかりでまだまだ未熟です。でも、「気づいても何も知らない大人にはなりたくない」その思いだけは、強く持っています。亡くなった仲間が、私に気づかせてくれました。「言葉とつながりは、人を支える力になる」と。

これからの青年部は、もっと交流を深め、笑い合うだけでなく、互いに支え合える関係を築いていきたいと思います。誰かが困っていたら、気づける人に。そして、自分にできる範囲で、手を差し伸べられる人に。私たちのそうした姿勢が、やがて地域全体の活力を生み出すことができるかと確信しています。青年部の中で築いたこの文化が、やがて地域全体に広がっていく事を私は心から願っています。

最後に、亡くなった仲間  
に伝えたい言葉があります。「あなたの存在が、皆に多くの気づきを与えてくれているよ」、そして「私が、次の世代を支えていくから、安心してほしい」  
私はこれからも、この言葉を言い続けます。「最近、どう？」「何か悩みはないか？」



# 助け合い組織合同講習会開催

1月22日、JAきたそらち助けあい組織（6組織）が災害時の調理方法を学ぶ合同講習会を開催し、18人が参加した。講師は、自らも納内のボランティアグループpleもん会員である栄養士の宮崎美由紀氏が務めた。

宮崎氏はまず、災害時の食事の課題について「災害時に支給される食料はパンやおにぎりが多く、野菜が不足しがちになるため普段から野菜を冷凍保存しておく」と説明した。

講習会では、ポリ袋調理を実演した。冷凍食品や缶詰などの材料をポリ袋に入れて湯煎する方法で、短時間でサバカレーなど計6品を調理した。この調理方法では、洗い物を最小限に抑えられるうえ、お湯が汚れないためそのまま再利用でき、節水にもつながるというメリットがある。

試食した参加者からは「ボリュームがあり野菜もたくさん取れておいしかった」「同時調理ができるため、短時間で何品も作れて便利」といった感想が寄せられた。

宮崎氏は「普段使いの缶詰や賞味期限の長い食品などを少し多めに買い置きし、使った分だけ新しく買い足すことで、常に一定量を家庭で備蓄しておくともしもの時に安全です」と締めくくった。

【農業振興部 高桑】



- ～メニュー～
- ・白米 ・サバカレー ・豚肉と野菜の生姜煮 ・オムレツ
  - ・高野豆腐のプディング ・みそ玉

農業  
振興部

## JAきたそらち女性大学カレッジあみていえ5期生第6講 「どうなる、どうする日本のお米」

2月13日、JAきたそらち女性大学カレッジあみていえ5期生第6講として「どうなる、どうする日本のお米」と題した講演会が開催され、女性大学5期生及び卒業生18人が参加した。

講師には、当JAの佐藤一久常務を迎えた。冒頭では、国がお米の生産・流通を管理する仕組みと二重価格構造が生んだ生産者・消費者・政府の対立について語られた。続いて世界のお米事情では、コンビニのおにぎりや恵方巻に輸入米が多く使われていることが明かされ、参加者から驚きの声が上がった。令和のコメ騒動が起きた原因としては、生産量と需要量の両方を見誤ったことが挙げられた。さらに、需要に対して生産者が減少しており、コメ政策見直しの重要性が語られた。

講演の中で佐藤常務は「お米の安定供給には、需要に応じた生産を維持し、お米を作り続ける環境を整備することが大切。需要に対してある程度余裕を持たせた生産や、コメ流通の簡素化も課題の一つ。生産者と消費者の価格ギャップを解消するために、コメ政策の見直しと農林水産予算の拡充が必要」と語った。

参加者は「ニュースだけでは理解しにくいことも分かりやすく知ることが出来た」「恵方巻は日本の文化だが、輸入米が使われていることに驚いた」と感想を話した。

【営農企画課 石野】



令和8年度 第6期生

JAきたそらち

《1年制》

# 女性大学「カレッジあみていえ」

## 受講募集します!!

1年間楽しみながら学ぶ「カレッジあみていえ」6期生を募集します。自分磨きや仲間づくり、役立つ講座があなたを待っています。過去に女性大学を受講されていた方も、再度受講いただけます。お気軽にご参加ください。

### 受講カリキュラム(予定)

- R8年 4月17日(金) 入学式
- 6月 日帰り研修～JAきたそらちツアー
- 7月 米袋エコバッグ作り
- 8月 相続に関する講習会
- 10月 パラリンピック競技「ボッチャ」体験
- 12月 深川産大豆を使用した味噌作り
- R9年 2月 講演会又は講習会
- 3月 卒業式



### 開校にあたって

JAきたそらち女性大学は、管内の女性が「食と農」「暮らし」「文化」「環境」などの学習を通じて知識や技術を高め、自分磨きや新たな仲間づくり、心豊かな地域づくりを深めていただく事を目的としています。

期間は1年制となっております。有意義なお時間をお過ごしください。

きたそらち農業協同組合 代表理事組合長 岩田 清正

募集人数 20名

募集期間 令和8年2月27日(金)～令和8年3月13日(金)まで

基本受講料 5,000円/年 ※講座により年間基本受講料とは別に自己負担があります。

入学資格

- 深川市、雨竜町、北竜町、幌加内町にお住まいの20歳以上の女性
- JAきたそらちの正組合員またはそのご家族、もしくは准組合員の方  
(組合員以外の方は、お近くのJAきたそらち貯金窓口又は本所にて准組合員への加入をお願いいたします。出資金として500円からお預かりいたします。)

お申し込み先

JAきたそらち農業振興部営農企画課 担当:石野

TEL:0164-26-0134 FAX:0164-22-1228

- 応募方法
- ①左のQRコードを読み取って申し込み
  - ②裏面の入学申込書をJAにFAX・郵送(3月13日までにJA必着)
  - ③電話での申し込み

ご不明な点などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。



スマートフォンからの申し込みはこちら



## 農福連携への理解深める



1月29日、深川市農民協議会がラ・カンパーニュホテル深川で「農業フォーラム2026」を開催し、行政や関係機関など123人が参加した。

岡田博樹委員長はあいさつで、フォーラムが1997年から続き、今年で26回目を迎えたことに触れ、「深川市農業の在り方や農業所得の確保、農業政策について学び、提言する場として開催してきた」と述べた。また近年は国際紛争や円安の影響により生産資材価格の高止まりが続き、農業経営への影響を懸念するとともに、物価高に対応した農業政策の推進が必要との認識を示した。

本年度は「農福連携」をテーマに講演を実施。「北海道における農福連携の動向」と題し、農福連携促進事業委託業務を受託する（一社）れんけい理事の大泉浩一氏が、道内の取り組み状況や制度の概要を説明した。

続いて、北海道農政部農業経営局農業経営課調整係・農業経営・企業連携サポート室の品田憲人氏が、「農福連携の取り組みについて」と題して講演し、農福連携技術支援者の派遣状況などを紹介した。

深川市では当JAを中心に農福連携を実践しており、農福技術支援者の資格を持つJA職員が、生産者と福祉事業所の橋渡し役を担っている。当JAの取り組みは、労働力不足と福祉分野の課題解決を両立する事例として評価されている。

質疑応答では、水稻を中心とした春作業への導入方法や労働時間、賃金、支援員の関わり方などについて質問が相次いだ。参加者からは「農業における社会貢献のあり方を考える機会になった」との声が聞かれ、農福連携への関心の高まりがうかがえた。



【営農企画課 松本】

## 深川市農業対策協議会 定期総会を開催

### 米価動向や生産コスト上昇に理解求める

農業  
振興部

1月29日、深川市農業対策協議会がラ・カンパーニュホテル深川で定期総会を開き、行政や関係機関など51人が出席した。

辻本吉和本部長は冒頭のあいさつで、近年の農業情勢について触れ、「米価は高水準で推移しているが、消費者からは高いと受け止められている現状もある。こうした状況を理解していただきながら進んでいく必要がある」と述べた。また、政府備蓄米放出による今後の米価動向や、近年の高温による畑作物の収量への影響、生産資材価格の高止まりなどを挙げ、「生産費が上昇する中で、販売価格が伴わなければ農業経営は厳しさを増す」との認識を示した。総会では、提出された議案についてはすべて原案どおり承認・可決された。

議事に先立ち、「クリーンライスふかがわ生産販売拡大委員会」による共励会表彰が行われ、優れた取り組みを行った生産者6名に対し、賞状と記念品が贈られた。

菊入等副本部長は、協議会活動について「深川農産物の応援団として取り組んでいきたい」と意欲を示すとともに、2027年に予定されている水田政策の見直しを注視しながら、稲作を基幹とする深川農業の振興に向け、関係機関が連携して対応していく考えを示した。



【営農企画課 松本】

# 社労士の一球入魂

～耕す法と農業者への送りバント～

## 第3回

### 人手不足時代の新常識 AIで“あなたの想い”を理念にする

社会保険労務士法人ホームラン  
代表社員 社会保険労務士



阿部 秀樹

2005年12月、札幌市中央区で「社会保険労務士法人 ホームラン」を開業。「みんなに喜ばれるいい会社になろう」を経営理念に現在約300件の顧問先の労務相談・助成金代行・401K・給与計算・社会保険手続き・就業規則作成・研修・いい会社研究会などを担っている。



TikTok 配信中

ホームラン社労士 アベ先生  
@homerunabe

経営理念は特別な人だけのものではありません。  
パソコンひとつで、あなたの農場の想いを言葉にできます。  
人が集まり、誇りが育つ農業経営へ——その第一歩をAIが支えます。

法人化が進み、従業員を雇う農業経営体が増えていきます。一方で、「募集を出しても応募が来ない」「若い人が続かない」といった声も多く聞かれます。  
人手不足の時代に必要なのは、給与や条件の見直しだけではありません。“この農場は何を大切にしているのか”を言葉にすることです。

今の若い世代は、  
・どんな想いで農業をしているのか  
・どんな未来を目指しているのか  
・自分はその一員になれるのか  
を見ています。  
その“旗印”になるのが経営理念です。

「理念なんて難しい」  
「文章を書くのは苦手」

そう感じる方も多いでしょう。  
しかし今は、AIという心強い道具があります。

例えば「ChatGPT」に、  
「北海道で米を作る法人農家です。人が集まり、誇りを持てる会社になりたい。感動する経営理念を作ってください。」  
と入力するだけで、数十秒で理念のたたき台が生まれます。

実際に作ってみると、例えば次のような文章が出てきます。

春、まだ冷たい風の中で田んぼに水を張る。  
夏、照りつける太陽の下で汗を流す。  
秋、黄金色に揺れる稲を見て胸が熱くなる。  
私たちが育てているのは、ただの米で

はない。

それは、家族がそろう夕食の時間。  
「おかわり！」と笑う子どもの声。  
遠く離れた人を思い出す、あたたかい湯気。

一粒の米が、誰かの今日を支え、誰かの明日をつくる。  
私たちは、食卓に笑顔を届ける企業である。

これは特別なコピーライターが作ったものではありません。AIが、経営者の想いを整理し、言葉にしたものです。

もちろん、そのまま使う必要はありません。「ここは違う」「うちはこうしたい」と整えていく。その過程こそが理念づくりです。

そして、理念は「文章」で終わらせる必要はありません。Googleの「NotebookLM」という無料

ツールを使えば、その理念をもとに、  
・社内説明用のプレゼン資料  
・求人説明会用のスライド構成  
・ホームページ掲載用の文章  
・理念紹介動画の原稿  
まで整理することができます。  
使い方は難しくありません。パソコンで理念の文章を貼り付けるだけです。

これまでは、制作会社に依頼したり、時間や費用をかけたたりする必要がありました。しかし今は、事務所のパソコンで短時間あれば、理念づくりから発信準備まで整えられる時代です。

人手不足の本質は、農業に魅力がないことではありません。その魅力が、まだ十分に言葉になっていないことかもしれません。

理念は難しくありません。AIを使えば、あなたにも作れます。そしてその想いは、きっと人を引き寄せる力になります。

# 金融共済部からのお知らせ



ライフイベントなどの簡単なアンケートに答えるだけで  
**豪華賞品**が当たるチャンス!



応募はこちら▲

アンケートに答えて当てよう! 抽選で合計**600**名様に豪華賞品が当たる!

**A**賞

シャープ  
プラズマクラスター  
ドレーブフロー  
ドライヤー



**200**名様  
(各期50名様)

**B**賞

バルミューダ  
バルミューダ  
ザ・トースター



**200**名様  
(各期50名様)

**C**賞

Meta  
Quest 3S  
128GB



**200**名様  
(各期50名様)

応募期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 応募締切 第1期：令和7年6月30日 第2期：令和7年9月30日 第3期：令和7年12月31日 第4期：令和8年3月31日

※画像はイメージです。実際の賞品とは異なる場合があります。※賞品のデザイン・仕様・機種等は変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。

さらに  
**1Wチャンス!!** デジタルギフトが抽選で合計**100,000**名様にその場で当たる!



# 金融共済部からのお知らせ



## 聞かせて! 暮らしのこと アンケートキャンペーン 応募方法



STEP 1

表面または右記のQRコードからアンケートページへアクセス!

※メールアドレス認証の必要があります。



STEP 2

応募者様情報を入力



たった3ステップで応募完了!

STEP 3

アンケート回答&応募したい賞品を選択!



＼A・B・C賞!

抽選で合計**600**名様に**豪華賞品**が当たる!

＼Wチャンス!!

デジタルギフトが合計**100,000**名様にその場で当たる!

### 応募要項

※賞品の詳細は表面をご覧ください。

|                |  |
|----------------|--|
| A・B・C賞<br>応募期間 | 【第1期】令和7年4月1日～令和7年6月30日 【第2期】令和7年7月1日～令和7年9月30日<br>【第3期】令和7年10月1日～令和7年12月31日 【第4期】令和8年1月1日～令和8年3月31日 |
| Wチャンス応募期間      | 令和7年4月1日～令和8年3月31日   |
| 応募要件           | アンケートフォームを通じて暮らしに関するアンケートにご回答いただいた方  |
| 抽選について         | 厳正なる抽選のうえ、当選者を決定いたします。なお、当選者の発表は賞品の発送、お届けをもってかえさせていただきます。<br>※当選の権利を他人に譲渡したり、金品に交換することはできません。        |

※ご提供いただいた個人情報はJAおよびJA共済連の事業ならびに各種サービスのご提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、JA共済は「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護に努めています。通信料はご利用者さまのご負担となります。



アンケート  
設問例

Q. この1年以内の出来事で  
当てはまるものはありますか?

Q. 将来の不安で当てはまる  
ものはありますか?

Q. 現在ご加入の保険・  
共済に満足していますか?

※設問例はイメージです。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

JA共済にご加入  
いただいている皆さまへ

## JA共済アプリのご案内

JA共済アプリにはあなたを守るポイントがたくさん!



JA共済アプリから **携帯電話番号の登録** をお願いします!

- ・大規模な災害が発生すると固定電話が利用できなくなる場合があります。大切なお知らせを、より早く、より確実にお届けするために、携帯電話番号のご登録をお願いいたします。
- ・JA共済アプリではJA共済IDとして携帯電話番号・メールアドレスをご登録いただけます。

JA共済アプリ  
の登録方法  
はこちら



今なら!! 安心を、いつでも手元に。

**JA共済アプリ** **新規登録** **キャンペーン**

期間：2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火) **実施中!**

先着 **30万名様** さらには **抽選で人気の**

**1,000円相当の + 豪華賞品** が当たる!

デジタルギフトをプレゼント! (計600名様)

※応募には所定の条件がございます。(JA共済アプリをダウンロードの上、Webマイページにご登録いただいた方が応募対象です。)

※通信料はご利用者さまのご負担となります。JA共済アプリ・Webマイページは、一定の登録条件があるため、一部の方はご利用いただけない場合がございます。また、お使いのスマートフォンの機種・設定等によってはご利用いただけない場合があります。

詳しくはお近くのJAまで  
お問い合わせください

お問い合わせは

JAきたそらち  
共済センター 0164-34-7151

伊勢本 所 0164-22-6618 多度志支所 0164-27-2111  
音江支所 0164-25-1111 雨電支所 0125-77-2331  
深川支所 0164-22-2171 北電支所 0164-34-2280  
納内支所 0164-24-2211 梶加内支所 0165-35-2024

25481050201

# 令和8年度 営農組合長

今年度の各地区営農組合長が決まりましたので、お知らせ致します。

| 地区名 | 組合名        | 氏名   | 構成員 | 地区名        | 組合名           | 氏名   | 構成員 |
|-----|------------|------|-----|------------|---------------|------|-----|
| 音江  | 菊丘         | 奥山晃一 | 6   | 雨竜         | 南盛            | 藤本隼人 | 25  |
|     | 音江東        | 谷脇弘之 | 7   |            | 東栄            | 橋本貴之 | 16  |
|     | 内園         | 富川裕一 | 10  |            | 西             | 梅野幸二 | 18  |
|     | 音江中央       | 田川大輔 | 52  |            | 中央            | 柴垣恵一 | 18  |
|     | 音江西        | 佐藤勝彦 | 33  |            | 本牧            | 長谷部朋 | 29  |
|     | (音江) 計108戸 |      |     |            | 北友            | 小玉光憲 | 29  |
| ×△  | ×△北        | 松本憲一 | 43  | (雨竜) 計135戸 |               |      |     |
|     | ×△南        | 馬木逸男 | 37  | 碧水         | 江田正           | 18   |     |
|     | (×△) 計80戸  |      |     | 岩村         | 松永尊           | 18   |     |
| 一已  | 一已北新       | 本瀬修二 | 38  | 美葉         | 牛竹谷全          | 23   |     |
|     | 一已中央       | 須田清彦 | 40  | 古作         | 川島史伸          | 8    |     |
|     | 一已鉄南       | 野原利浩 | 44  | 板谷         | 石井隆           | 16   |     |
|     | (一已) 計122戸 |      |     | 西川         | 吉田健           | 8    |     |
| 納内  | 納内         | 庄司俊光 | 56  | 和          | 高橋孝行          | 11   |     |
|     | (納内) 計56戸  |      |     | 三谷         | 尾崎浩郎          | 13   |     |
| 多度志 | 多度志南       | 西田展好 | 33  | 惠竜         | 川本隆幸          | 15   |     |
|     | 多度志北       | 松田学  | 33  | (北竜) 計130戸 |               |      |     |
|     | (多度志) 計66戸 |      |     | 南幌         | 熊野篤<br>加藤一広   | 25   |     |
| 幌加内 | 幌加内        | 庄司俊光 | 56  | 幌中         | 小野田倫久<br>中河聖弘 | 28   |     |
|     |            |      |     | 幌里         | 藤井祐<br>畠山勝利   | 23   |     |
|     |            |      |     | 北幌         | 畑正志<br>高山勝行   | 13   |     |
|     |            |      |     | (幌加内) 計89戸 |               |      |     |
|     |            |      |     | (多度志) 計66戸 |               |      |     |



◎印は営農組合長連絡協議会代表者です。  
○印は営農組合長連絡協議会副代表者です。

営農組合数 32組合 営農組合戸数 786戸

## きたそらち農業教育振興基金 収支報告書

篤志者の寄付等からの積立てによって造成されている当JA農業教育振興基金は、令和8年1月末残高は8,997,342円となっています。

今後においても当JA組合員教育の実施や地域農業振興のため、優れた農業者の育成を目的として活用させていただきます。

自：令和7年2月1日～至：令和8年1月31日

| 【収 入】 | 項 目         | 金 額       | 摘 要  |
|-------|-------------|-----------|--|
|       | 繰越金         | 9,851,024 | 令和7年1月31日残高  |
|       | その他(貯金利息)   | 11,906    |  |
|       | 収入合計        | 9,862,930 |  |
| 【支 出】 | 項 目         | 金 額       | 摘 要  |
|       | 道外先進地視察研修助成 | 865,588   | 参加者：令和2年～5年中の新規就農者7名<br>実施期間：令和7年11月5日～7日<br>(宮城県、福島県、東京都、千葉県方面) |
|       | 支出合計        | 865,588   |  |
|       | 差引残高        | 8,997,342 |  |

# 令和7年度 JAきたそらち太陽光発電所 収支報告 (単位:千円)

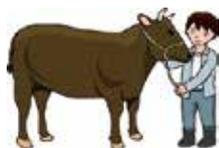
| 項目         | 6年度実績  | 計画対比   |         | 前年実績対比 |         | 備考              |
|------------|--------|--------|---------|--------|---------|-----------------|
|            | 金額     | 計画     | 対比      | 金額     | 対比      |                 |
| R7年度発電収入 ① | 19,315 | 16,547 | 2,768   | 22,176 | △ 2,861 | R6.12~R7.11 発電分 |
| 減価償却費      | 7,069  | 7,597  | △ 528   | 7,069  | 0       |                 |
| 償却資産税      | 500    | 551    | △ 51    | 500    | 0       |                 |
| 電気事業税      | 0      | 0      | 0       | 0      | 0       |                 |
| 借入金利息      | 0      | 508    | △ 508   | 0      | 0       |                 |
| その他諸費用     | 1,618  | 2,345  | △ 727   | 1,841  | △ 223   | 点検費、保険費用、管理費    |
| 支出合計 ②     | 9,187  | 11,001 | △ 1,814 | 9,410  | △ 223   |                 |
| 収 支 ① - ②  | 10,128 | 5,546  | 4,582   | 12,766 | △ 2,638 |                 |

## 令和7年度 ホクレン南北海道市場和牛・交雑素牛販売情報

開催日  
1/14 ~ 1/15  
市場成績

| 品種 | 性別 | 区分   | 市場全体     |         | きたそらち農協  |         |
|----|----|------|----------|---------|----------|---------|
|    |    |      | 本年 1 月実績 | 前年同月実績  | 本年 1 月実績 | 前年同月実績  |
| 和牛 | 去勢 | 出場頭数 | 364      | 806     | 17       | 38      |
|    |    | 平均価格 | 836,104  | 655,627 | 796,981  | 616,611 |
|    | めす | 出場頭数 | 313      | 571     | 31       | 32      |
|    |    | 平均価格 | 715,601  | 523,644 | 701,516  | 510,107 |
| 交雑 | 去勢 | 出場頭数 | 27       | 39      | 0        | 0       |
|    |    | 平均価格 | 482,941  | 335,021 | 0        | 0       |
|    | めす | 出場頭数 | 227      | 234     | 73       | 65      |
|    |    | 平均価格 | 445,831  | 326,874 | 424,957  | 334,265 |

【平均価格は円・税込価格】



## 退職者

大変お疲れ様でした

令和8年1月20日付

◆青果部 青果課

大竹 克哉

令和8年2月28日付

◆金融共済部 渉外課

千石 倅輔



JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です！  
ぜひ、ご覧ください！



JA\_HITASORACHI  
Instagram

Facebook

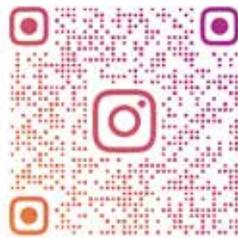
YouTube

ホームページ

青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



JA.YOUTH\_FUKAGAWA



URYU\_SEINENB



青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪  
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！

# 二月俳句

● 雨竜俳句会

雪道に未だ馴染めぬ八十路なり  
何編もう色とりどりの毛糸玉  
冬晴れや留守電聞けば妹の声  
筋トレと覚悟凸凹雪の道  
雪景色過剰な客に荒らされり  
まゆ玉の吊るし飾りに兎が舞いて

北川 満江  
佐々木待子  
松木 五月  
竹原 美裕  
宮武めぐみ  
吉見サヨ子

● 「道」俳句会 北竜支部

着膨れて忘れてならぬ恩一つ  
月と灯と二つの影引く凍ての道  
立春のなんら変わらぬ一日かな  
百姓の根性残し土凍てる  
国訛露店に列や雪まつり  
日の筋に吊られて咲けり君子蘭

山本 玲子  
山岸 正俊  
吉尾 広子  
山下 好晴  
佐藤美智子  
阿部れい子

● 土筆俳句会

地吹雪のつづく原野や日のけふる  
凍て空や始発客車の発車ベル  
十二週のエコー写真や風光る  
雑魚食らう胃の臍もろとも寒の鍋  
二か月の痛み和らぎ日脚伸ぶ  
キシキシと足元の先雪光る  
カフェラテの口に溶け込む冬の朝  
凍て空に聳え立つなり北の峰  
農道の徹の緩み春が来た

高尾美津子  
池田 美知  
南川富美子  
佐藤英三子  
滝口富美子  
菅原 優子  
森田裕美子  
沼田留美子  
小橋 厚子

## 第14回理事会 〈令和8年1月28日開催〉 以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 令和7年12月推定決算について
5. 令和8年度事業計画の策定及び経費支出の見直しについて
6. 令和7年度月別事業実績について
7. ALM委員会の報告について
8. 職員の人事及び業務事故について
9. 貸出金の貸付報告について
10. クミカン精算状況について

- 議案第1号 組合員の出資金持分譲渡について  
 議案第2号 組合員の出資減口について  
 議案第3号 令和8年度 経営定期点検計画の実施計画について  
 議案第4号 旅費実費弁償規程の改正について

1. 令和8年度役員報酬審議会への諮問について

11. 理事者に対する組合員勘定の貸越実績報告について
12. 令和7年12月 営農懇談会意見・質問について
13. 中干期間延長によるJクレジット申請に係る幹事会社の変更について
14. 米在庫状況について
15. 販売未収金について
16. 令和7年度畜産物の販売実績（12月末）について
17. 青果・花き集荷販売実績について
18. 令和7年度 青果・花き生産振興対策（実績）について
19. 経済部事業実績について

- 議案第5号 職員の期末手当の支給について  
 議案第6号 農地評価額の見直しについて  
 議案第7号 貸出金の貸付について  
 議案第8号 理事者に対する貸出承認について

## クロスワードクイズ

※今月号のクロスワードは休載いたします。

1月号の正解は「ガンジツ」でした。  
 正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 和田奈津美 様  
 幌加内 中西久美子 様  
 北竜町 佐藤 深幸 様

## 組合員の動き (令和8年1月末日)

|        |    | 当期首   | 加入 | 脱退  | 当月末   |
|--------|----|-------|----|-----|-------|
| 正組合員   | 個人 | 1,140 | 2  | 6   | 1,136 |
|        | 団体 | 113   | 7  | 0   | 120   |
| 准組合員   | 個人 | 5,312 | 5  | 100 | 5,217 |
|        | 団体 | 258   | 2  | 12  | 248   |
| 正組合員戸数 |    | 805   | 0  | 4   | 801   |



## JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和8年1月実績

**発電電力 12,278kWh**

計画対比 +5,958kWh  
 前年対比 Δ460kWh

**売電金額 491,120円 (40円/kwh)**

○累計 (R7.12~R8.1)

**発電電力 25,779kWh**

計画対比 +5,457kWh / 前年対比 +5,378kWh

創刊300号記念  
**アスパラガス**  
プレゼントキャンペーン



抽選で **30名** に当たる！



応募期間 **3月1日(日) ~ 4月30日(木)**

応募方法 300号にちなみ身近にあった“3”にまつわるエピソードをご記入の上、いずれかの方法でご応募ください。

- ①ハガキで下記住所まで郵送での応募。
- ②FAXで下記番号による応募。
- ③Instagramからの応募。

当選発表 当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

宛先 〒074-0015 北海道深川市深川町字メム10号線山3線5850番地  
「JAきたそらち農業振興部 営農企画課」  
TEL 0164-26-0134  
FAX 0164-22-1228

Instagramでの応募

1. JAきたそらちの公式アカウントをフォロー
2. プレゼントキャンペーン投稿にいいね！
3. プレゼントキャンペーン投稿に『3にまつわるエピソード』をコメント！

当選者にはキャンペーン終了後、ダイレクトメッセージにてご連絡いたします。



@ja\_kitasorachi

